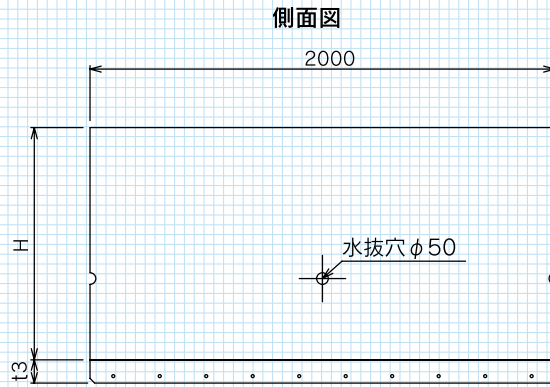
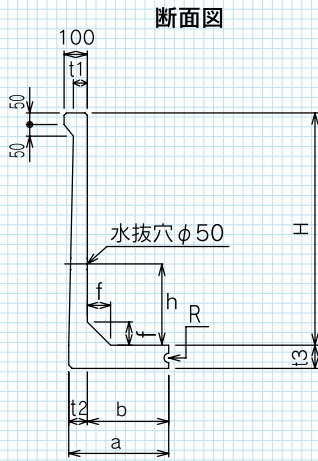


L型水路



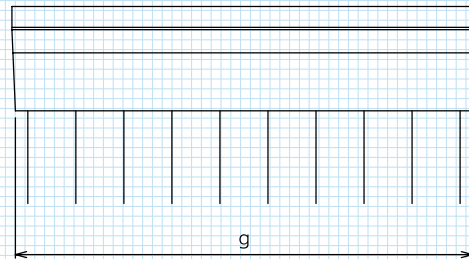
製品寸法図

(単位：mm)



断面図

側面図



平面図

製品寸法表

(単位：mm)

呼び名	H	a	b	t1	t2	t3	f	g	h	R	参考重量 (kg)
600	600	270	200	60	70	80	60	1980	220	15	318
700	700						70		240		353
800	800	320	250				80	1975	260		423
900	900	380	300		90	1970	310	505			
1000	1000	430	350		100		350	20	587		
1200	1200	505	400		105	120	120	420	819		
1400	1400	560	450	65	110	140	140	1960	490	30	997
1500	1500	570			120	150	150	1955	580		1,149
1600	1600	630	500	60	130	160	160	1950	600	40	1,293
1700	1700	750	600	65	150	180	180	1950	650		1,622
1900	1900	870	700	75	170	200	200	1945	700	40	2,022
2000	2000								700		700
2200	2200	940	750	190	220	220	220	1940	760	40	2,529

※張出筋については、条件によって変わりますので、別途お問い合わせください。

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法その他

L型水路 歩掛

1個当り質量 (kg/個)	1日当り 標準施工量 (個/日)	1日当り労務配置(人/日)			クレーン(日)	接合材料費率
		土木世話役	特殊作業員	普通作業員		
80超え 450以下	30	1.0	2.0	2.0	1.0 (トラッククレーン 4.9t吊り)	1.0
450超え 800以下	28			2.0		
800超え 1,100以下	26			2.5		
1,100超え 1,500以下	24			2.5		
1,500超え 1,900以下	22			2.5	1.0 (ラフテレーンク レーン20t吊り)	
1,900超え 2,200以下	21			3.0		
2,200超え 2,600以下	19			3.0		

(注)

- 掘付に伴う材料の手間含む。
- 接合にモルタル使用の場合は、接合材料費として労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
- 上記歩掛は、平成22年度農林水産省土地改良工事積算基準(土木工事)水路用鉄筋コンクリートL型ブロック掘付歩掛より引用しております。
- 現場条件等により上表により難しい場合は、現場条件等に適合した機種・規格を計上する。トラッククレーンとラフテレーンクレーンは、賃料とします。

鉄筋コンクリート大型水路掘付歩掛

1個当り製品長さ (mm/個)	1個当り質量 (kg/個)	1日当り標準施工量 (m/日)	労務設備(人/日)			クレーン		接合材料費率		
			土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	(日)	規格			
1000	1,000 以下	18	1.0	1.0	2.0	1.0	トラッククレーン 4.9t吊	1.0		
	1,000 越え 1,450 以下	16			2.5					
	1,450 越え 1,500 以下	16			2.5					
	1,500 越え 2,000 以下	15	1.0	1.0	2.5	1.0	ラフテレーン クレーン 20t吊			
	2,000 越え 2,500 以下	14			3.0					
	2,500 越え 3,500 以下	13			3.5					
	3,500 越え 5,500 以下	13			4.0					
	5,500 越え 7,000 以下	12			4.5					
1500	1,000 以下	28	1.0	1.0	2.0	1.0	トラッククレーン 4.9t吊	1.0		
	1,000 越え 1,450 以下	26			2.5					
	1,450 越え 1,500 以下	26			2.5					
	1,500 越え 2,000 以下	24			1.0	1.0	2.5		1.0	ラフテレーン クレーン 20t吊
	2,000 越え 2,500 以下	22					3.0			
	2,500 越え 3,500 以下	20					3.5			
	3,500 越え 5,500 以下	20					4.0			
	5,500 越え 7,000 以下	18					4.5			
2000	1,000 以下	34	1.0	1.0	2.0	1.0	トラッククレーン 4.9t吊	1.0		
	1,000 越え 1,450 以下	32			2.5					
	1,450 越え 1,500 以下	30			2.5					
	1,500 越え 2,000 以下	28	1.0	1.0	3.0	1.0	ラフテレーン クレーン 20t吊			
	2,000 越え 2,900 以下	26			3.5					
	2,900 越え 3,500 以下	26			3.5					
	3,500 越え 5,500 以下	26			4.0					
	5,500 越え 7,000 以下	24			4.5					

(注)

- 敷きモルタル以外の掘付調整材を使用する場合は、材料費のみ別途計上する。
- 掘付に伴う材料の移動手間を含む。
- 接合にモルタルを使用する場合は、接合材料費として労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を計上する。
なお、モルタル以外の接合材を使用する場合、材料費のみ別途計上する。
- 環境条件等により上表により難しい場合は、環境条件に適合した機種・規格を計上する。
トラッククレーンとラフテレーンクレーンは賃料とします。
- は、平成22年度農林水産省土地改良工事積算基準(土木工事)鉄筋コンクリート大型水路掘付より引用しています。
- 基礎工は別途計上となります。